

一般質問通告表

平成20年第3回沖縄県議会(定例会)

10月01日(水)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|---------|---|--------------|----------|
| 1 | 17分 | 崎山 嗣幸(社民・護憲) | 知事 関係部長等 |
| 質 問 要 旨 | | | |
| 1 | 那覇空港の民間専用化について | | |
| (1) | 自衛隊機がまたしてもパンク事故を起こし、軍民共用の危険性を浮き彫りにした。知事の民間専用化に対する見解を伺う。 | | |
| (2) | 自衛隊那覇基地は第15旅団へと格上げし、その基地の機能強化を図ろうとしている。格上げの実態を伺う。 | | |
| 2 | 米軍基地関係について | | |
| (1) | 米原子力潜水艦の放射能漏れ事故について | | |
| ア | ホワイトビーチへの寄港回数が年間最多となっている。なぜか、その背景を伺う。 | | |
| イ | ホワイトビーチへ入港する原子力潜水艦は、これまで核搭載可能な艦船が入港してきたか伺う。 | | |
| ウ | これまでの沖縄近海での原子力潜水艦事故の発生状況を伺う。 | | |
| (2) | 米軍の訓練について | | |
| ア | 訓練水域・空域は漁船など船舶や民間機など、危険と経済活動の障害となっている。撤廃の要求をする考えはないか伺う。 | | |
| イ | 当該領域でのこれまでの米軍の事故状況を伺う。 | | |
| ウ | この領域内は、米軍の制限によって漁船や民間機など「迂回」せざるを得ない状況にあり、原油高騰による打撃を受けている。この被害状況を把握できているか伺う。 | | |
| 3 | 都市計画事業について | | |
| (1) | 那覇新都心地区(おもろまち一丁目)の用途地域変更について県の同意内容を伺う。 | | |
| (2) | 県は、那覇市に「都市景観審議会」の開催を求めたか、その進捗状況を伺う。 | | |
| (3) | 県的那覇広域都市計画(新都心地区)の概要と課題を伺う。 | | |
| (4) | 当該区域(おもろまち一丁目)の売却先と売却方法、売却額を伺う。 | | |
| (5) | 当該周辺の売買実例価格は幾らか伺う。 | | |
| (6) | 第2種住居地域、建ぺい率60%、容積率200%から商業地域の建ぺい率80%、容積率400%に用途変更になっても売却価格は変わらないか伺う。 | | |
| 4 | 住宅行政について | | |
| (1) | 元郵住協の古島団地問題は、解散時に締結した「協定書」の履行を求めるべきと考えるが見解を伺う。 | | |
| (2) | 当該古島団地は、老朽化が著しくコンクリートの腐敗膨張が進行し落下危険性が高い。実態調査をし入居者の安全を確保する考えはないか伺う。 | | |
| 5 | 福祉のまちづくり条例について | | |
| (1) | 今回の条例第33条の一部条例改正は、那覇市が条文の削除によって県条例の適用を図ることとなっているが、ハード部門の整備基準など緩和し、那覇市が後退させたと受けとめてよいか伺う。 | | |

- (2) 那覇市が緩和した建築物に係る整備基準の改正は県条例とどこが違うのか。具体的に比較した説明を求める。
- (3) これまで、県の施設で那覇市の条例で不適合な指摘を受けたことがあるか伺う。
- (4) 平成18年の大手ビジネスホテル「東横イン」の不正改造問題の教訓に対応しているのか伺う。

6 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成20年第3回沖縄県議会(定例会)

10月01日(水)

| 順位 | 時間 | 氏名 (会 派) | 答弁を求める者 |
|---------|--|------------|---------|
| 2 | 17分 | 前田 政明(共産党) | 知事 |
| 質 問 要 旨 | | | |
| 1 | 知事の政治姿勢について | | |
| (1) | 「普天間基地の移設に関する沖縄県の考え方」について | | |
| ア | 知事は「辺野古沿岸への新基地建設反対決議」の県議会決議を否定する見解を述べているが、県議会決議を踏みにじる言動は県民の民意を踏みにじるものである。 | | |
| イ | キャンプ・シュワブには滑走路2本の基地があったのか。普天間基地と比較してもさまざまな基地機能の強化された新基地を「新しい基地の建設」とは性格が異なると否定して、米軍再編と新基地建設の危険な実態を意識的に過小評価して新基地推進を進める対応は県民だましの手法ではないか。 | | |
| ウ | 名護市民投票で、新基地建設はノーという審判をどのように受けとめているのか。県内移設を前提とするSACO合意による新基地建設は断念されたのはなぜか。 | | |
| エ | 今回の辺野古沿岸への新基地建設は、頭ごなしに日米両政府によって決定されたものではないか。県民の世論はこの間、辺野古新基地建設は反対である。この県民の声を踏みにじり、沖縄にさらなる米軍の恒久基地を押しつけるのに対し、知事は反対すべきではないか。 | | |
| オ | 名護市も宜野座村も、住民投票や村民大会決議等の住民の願いを踏みにじった対応ではないか。 | | |
| カ | 「名護市にあるキャンプ・シュワブに移すことが、実現可能性の高い早道だ」との見解は、世界的に見ても貴重なサンゴ群、ジュゴンの生息する世界の宝の美ら海を守り、人殺しの海外侵略の基地建設は許さないという十年余にわたる県民の粘り強い反対運動と県民世論を否定するものではないか。 | | |
| キ | 新基地建設を推進してきた守屋前事務次官も逮捕され、防衛大臣もたびたび変わり、「米軍再編」協議の米側代表を務めたローレス前米国国防副次官が、「同盟変革(再編)の実施が漂流している。普天間飛行場の移設がその例だ。……この合意はすべてが連動する複雑な機械のようなもので、一つのパーツが凍結すれば、全体が凍結してしまう」と述べるなど、思いどおりにならないいら立ちと危機感が、「米軍再編」推進勢力からも伝わってきている。県民の粘り強い運動が、全国の人々や世界の自然保護団体を初めとする支援と連帯の輪が広がり、今では辺野古の基地建設は実現性のない計画となっているのではないか。 | | |
| ク | 基地の県内移設に反対する県民運動と県民世論の力で、SACO合意も破綻して振り出しに戻した。普天間基地の閉鎖・撤去、新基地建設を断念することこそ、普天間基地の危険性を除去する現実的な解決の道ではないか。 | | |
| ケ | 日米両政府から、具体的な嘉手納基地以南の返還計画が示されているのか。嘉手納以南の米軍基地の返還は、県内移設であり基地負担の実質的な軽減にはならない。返還の実現可能性はあるのか、県民の願いを欺くものではないか。 | | |
| コ | 戦後63年、米軍基地あるがゆえの苦難を背負わされた県民の願いは米軍基地のない平和な沖縄である。今、沖縄県民は危険な普天間基地の即時閉鎖、撤去を訴えて、その実現の先頭に立つことのできる道理と勇気のある知事を求めている。日米両政府と辺野古の基地建設推進のことしか考えられない知事の主張は県民の新基地建設反対の願いを踏みにじるものである。 | | |

- (2) 普天間基地の3年閉鎖問題について
知事の選挙公約の暫定ヘリポート構想と同様に、普天間基地の3年閉鎖問題は現実性のない、実効性のない公約で破綻している。宜野湾市の騒音被害は大幅に減っているのか。かえって騒音被害はふえているのではないか。
- (3) 米軍再編と訪米問題について
 - ア 日米同盟の再編、米軍再編の全国的な全体像について説明してください。
 - イ 訪米の目的について説明してください。

2 自衛隊問題について

- (1) 第1混成団の旅団化について
 - ア 旅団の構成と装備の特徴はどうなっているか。沖縄での米軍などの共同演習や実弾射撃訓練などがさらに強化されることになるのか。
 - イ F15と空中給油機(KC767)の配備によって那覇基地の役割が米軍と一体となって海外に出撃する海外攻撃基地として強化されることはないか。このようなF15と空中給油機の配備と給油機の駐機場整備に反対すべきではないか。
 - ウ 自衛隊機の事故によって空港が閉鎖された。危険な軍民共用空港の実態を改めて示した。一日も早い那覇空港の民間専用化が求められている。自衛隊機の離発着回数はどうなっているか。自衛隊基地を撤去することこそ安全な空港となるのではないか。そうすれば、空港の拡張も必要ないのではないか。
 - エ 自衛隊の戦闘機による騒音公害被害について、県当局は改善の申し入れをしているが、自衛隊の具体的な対応はどうなっているのか、当局の対応と見解を問う。
 - オ 自衛隊の与座通信基地の新しいレーダーの機能と役割について

3 米国の先制核攻撃戦略と原子力潜水艦について

- (1) 核兵器は緊急廃絶すべきです。知事の見解を問う。
- (2) 非核三原則は厳守されるべきです。そのためにも、非核三原則の法制化が必要ではないか。
- (3) ロサンゼルス級原子力潜水艦は巡航ミサイルの核トマホークの積載可能な原潜ですか。
- (4) 核トマホークの破壊力は広島型原爆の何倍ですか。
- (5) すべての原子力潜水艦の寄港に反対すべきではありませんか。
- (6) 沖縄・米海軍基地ホワイト・ビーチが米国の核戦略体系の重要な基地として再編強化されているのではないか。知事の見解を問う。
- (7) 原子力潜水艦の事故の件数や主な事故について説明してください。
- (8) 原子力潜水艦の放射能汚染や原子炉事故が起こったときの対応と被害想定について説明してください。

4 福祉行政・子供の貧困について

- (1) 児童虐待について
 - ア 児童虐待の状況と県・市町村の相談・処理件数(5年間)について説明してください。児童虐待に対する対応と見解を問う。
 - イ 要保護児童対策地域協議会、児童虐待防止ネットワークの活動状況について
 - ウ 児童虐待と子供の家庭の貧困問題、失業、非正規雇用の増加、長時間労働について、当局の見解と対応を問う。

(2) 子供の貧困について

- ア 「子供の貧困」という問題が福祉や教育の現場から提起されている。当局の認識と対応について伺う。
- イ 給食費の未納世帯の貧困世帯の状況について
- ウ 修学旅行に参加できない児童の状況について
- エ 学校の保健室の児童の状況、保健室に来て病院に行く必要の児童で保健手帳のない状況について
- オ 就学援助の受給児童数の状況について（５年間）
- カ 乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設等の入所数（５年間）
- キ 母子世帯の平均収入の状況について

5 教育行政について

沖縄県立盲学校、沖縄県立聾学校を併設型の特別支援学校ではなく単独型の特別支援学校として存続することについて、当局の対応と見解を問う。

6 水産行政について

- (1) 「水産物流通総合センター整備に当たっての確認事項」について、平成16年2月9日に当時の農林水産部長が関係者の代表と調印をしています。それによると「3 水産物流通総合センターの運営及び入居者（仲買人）の業務についての（2）センターに入居した仲買人の業務について、センターにおいて仲買人が行う業務は、仲卸販売を中心とし、小売業者と競合しないようにする、県漁連はセンターの入居者に対して、適切かつ十分な指導を行うものとする、補助事業の目的を踏まえ、センターでは水産物以外の物産は取り扱わないこととする。」となっている、当局の対応と見解を問う。
- (2) 泊魚市場の中間卸・小売業者の市場からの締め出しの撤回について
中間鮮魚卸小売業連合会から、数十年にわたり生産者と消費者を結ぶ重要な担い手として先頭になって頑張ってきた中間卸・小売業者を市場から締め出す、立ち入り規制の撤廃を求める陳情・要請が寄せられている。当局の見解と対応を問う。

7 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成20年第3回沖縄県議会(定例会)

10月01日(水)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|---------|---|-------------|----------|
| 3 | 17分 | 平良 昭一(改革の会) | 知事 関係部長等 |
| 質 問 要 旨 | | | |
| 1 | 海上自衛隊P3C送信基地跡地利用について | | |
| | (1) 米軍により強制的に建設された飛行場は、復帰直前に返還され、補償、跡地利用もないまま放置されてきたが、その件に関して知事の見解を求める。 | | |
| | (2) 送信基地断念後の同地区の利活用は、地元との連携を密にして必要な支援策を講じると言っているが、防衛省、県、町それぞれの今後の役割、立場を明確に示してほしい。 | | |
| 2 | 県内ダム施設について | | |
| | (1) 観光客1000万人構想の中で、水問題はどうなっているか。 | | |
| | (2) 新たなダム構想があるのか。 | | |
| | (3) 福地ダムに関して漏水、耐震基準に関して地元住民から不安の声があるがその見解は。 | | |
| 3 | 伊平屋空港の進捗状況について | | |
| | (1) 伊平屋村と県の建設状況の進展について伺う。 | | |
| | (2) 2村1空港の案だが伊是名村の見解は。 | | |
| | (3) 埋立案の見解は。 | | |
| 4 | 国道329号宜野座村漢那地区整備の進捗状況について | | |
| | (1) 10年ほど前からの計画であるが一向に進展していないがどうしてか。その詳細を説明願いたい。 | | |
| 5 | 離島振興補助の仕組みについて | | |
| | (1) 原油高騰のあおりで離島航路の経営が悪化しているがその対策は。 | | |
| | (2) 離島振興補助のミクロの部分で地方自治体の担当職員が理解できないとの声がある。その基準システムの中身について説明を求める。 | | |
| | (3) ガソリン価格が本島に比べ格段の違いがあるが、同じ消費県民としてどのような見解を持っているか。 | | |
| 6 | 国有地海浜、港湾地区内の営業行為について | | |
| | (1) 県内各地でトラブルがあると聞くがその実態。 | | |
| | (2) 本部町水納島では5年前から地元住民を巻き込んでのトラブルが起きているがその対策はどうしてきたか。 | | |
| 7 | 古タイヤ利用リサイクル漁礁について | | |
| | (1) 中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律に基づき承認した経営革新計画の中に、廃タイヤ、古漁網を利用した漁礁があるが、その詳細について説明願いたい。 | | |
| | (2) その漁礁が今年3月伊江島沖で試験的に沈められているが、その成果と今後の県の考え方は。 | | |
| | (3) 水産庁の補助があると聞くが、具体的な補助メニューの詳細はどのようなものか。 | | |

- (4) 受益者負担の割合は。
 - (5) 不法投棄のタイヤが県内各地で見つかっており、特に離島のタイヤ処分は重要な問題。リサイクルの観点から、水産庁以外の補助の可能性はないか。
- 8 沖縄ユーカリファームの告発状について
- (1) 一連の流れの説明について
 - (2) 告発状の取り扱いはどうなっているか。
- 9 中高一貫教育の成果について
- (1) 連携型中高一貫で学力が低下していると聞くがその実態と成果について
 - (2) 入試制度のあり方に各中学校苦慮していると聞くがその対策は。

一般質問通告表

平成20年第3回沖縄県議会(定例会)

10月01日(水)

| 順位 | 時間 | 氏名 (会派) | 答弁を求める者 |
|---------|--|------------|----------|
| 4 | 17分 | 玉城 満(改革の会) | 知事 関係部長等 |
| 質 問 要 旨 | | | |
| 1 | <p>沖縄振興開発計画及び振興計画について</p> <p>(1) 昭和47年から現在に至るまでの経済効果の総括について</p> <p>ア 失業率の増加について</p> <p>イ 1次産業の衰退について</p> <p>ウ 2次産業の衰退について</p> <p>エ 公共工事の県外業者の受注について</p> <p>オ 以上4項目の現状、原因を踏まえた今後の県の方向性を伺う。</p> <p>(2) 現在までのハード事業重点からソフト事業への展開の可能性について</p> | | |
| 2 | <p>沖縄21世紀ビジョンについて</p> <p>(1) 沖縄文化の位置づけについて</p> | | |
| 3 | <p>沖縄県の交通政策について</p> <p>(1) 平成13年3月鉄軌道導入可能性基礎調査について</p> <p>(2) 沖縄県鉄道について</p> <p>(3) LRT導入の可能性について</p> | | |
| 4 | <p>米軍再編に伴う問題について</p> <p>(1) 跡地利用計画の進行状況について</p> <p>(2) 駐留軍等労働者の雇用対策について</p> <p>(3) 久米島の鳥島について</p> | | |
| 5 | <p>文化行政について</p> <p>(1) 県の文化予算について</p> <p>(2) 文化振興課と文化課の違いについて</p> <p>(3) 来年は首里城明け渡しからちょうど400年。県は特別にプロジェクトを予定しているかどうか。</p> | | |
| 6 | <p>観光行政について</p> <p>(1) 観光客1000万人受け入れについての今後の施策はどうなっているのか。</p> <p>(2) 地元経営ホテルの減少について(外資系化)</p> | | |

一般質問通告表

平成20年第3回沖縄県議会(定例会)

10月01日(水)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|---------|---|-------------|----------|
| 5 | 17分 | 當間 盛夫(改革の会) | 知事 関係部長等 |
| 質 問 要 旨 | | | |
| 1 | 知事の政治姿勢について | | |
| | (1) 折り返しを迎える知事選挙公約の実現状況について伺う。 | | |
| | ア 基地問題(辺野古移設、普天間基地3年閉鎖)について | | |
| | イ 完全失業率の全国平均化、若年雇用問題、非正規雇用の現状について | | |
| | ウ 30人学級、人材育成について | | |
| | エ 1000万人の観光客を迎え入れるためのインフラ整備の進捗状況について | | |
| | (2) 普天間基地に対する知事の考え方について | | |
| | ア 県民に十分理解されていないということですが、この2年で県民の意見をどのように集約されてきたのか。 | | |
| | イ 辺野古移設が実現可能性の早道とあるが、何と比較してか、ほかにどのような選択をされたのか。 | | |
| | ウ 大田県政8年、稲嶺県政8年の基地政策は間違いか。 | | |
| | (3) 訪米について | | |
| | ア 担当者が決まらない状況で、将来につながる日程がつかれるのか。 | | |
| | イ 米国企業より、県内中小企業の支援が先決ではないか。 | | |
| 2 | 原油高騰対策について | | |
| | (1) 知事を本部長にした「緊急経済対策委員会」の設置について | | |
| | (2) 国、県、市町村公共事業の早期集中発注、県内企業の受注について | | |
| | (3) 原油高騰に伴う緊急対策予算について(県単独借入、振興対策調整費で総額100億円) | | |
| | (4) 沖縄振興開発金融公庫、県信用保証協会及び金融機関の金融対策について | | |
| 3 | 全国学力テストについて | | |
| | (1) 今年も小中学とも全国最下位という結果をどのように分析されたか。 | | |
| | (2) このような状況で非開示にすることは、教育委員会の怠慢ではないか。 | | |
| | (3) 毎年の実施をやめて、少人数学級や補習予算に向けるべきではないか。 | | |
| 4 | 産地偽装問題(海ブドウ)について | | |
| | (1) 「沖縄産」「海外産」の定義と基準はどのようなものか。 | | |
| | (2) 生産者、輸入業者、加工業者にどのように県は指導されたか。 | | |
| | (3) JAS法では違反すると「指示」「命令」「罰金」の三段構えであるが、過去5年間で県が指導してきた件数を伺う。 | | |
| | (4) 今回の件は県産品に大きな影響を与えた。類似する他の商品にはどのようなものがあるか、その指導はどうなっているか。 | | |
| | (5) 県警は、不当競争防止法違反容疑で捜査とあるが、状況を伺う。 | | |
| 5 | ブラジル・アルゼンチン移民100周年について | | |

- (1) 両国の県系人材育成交流の活性化、予算確保について伺う。
- (2) 姉妹都市南マットグロッソ州との交流について
- (3) 国営石油会社ペトロブロス社訪問について(投資、県への要望)

6 警察行政(安全、安心の確保について)

- (1) 駐在所の遠隔地勤務状況について伺う。
- (2) 駐在所に警察官が駐在しない箇所は何か所か、あれば理由は何か。

7 那覇空港の拡張について

- (1) 那覇市議会の「民間専用空港」の意見書、豊見城市からの1310メートル案支持を、県としてどのように考え、協議会に反映されるのか。
- (2) 那覇旧軍飛行場用地問題解決を協議、検討されたか。

一般質問通告表

平成20年第3回沖縄県議会(定例会)

10月01日(水)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|---------|----------------------|--|----------|
| 6 | 17分 | 嶺井 光(自民党) | 知事 関係部長等 |
| 質 問 要 旨 | | | |
| 1 | 多様な人材の育成と文化の振興について | | |
| | (1) 全国学力・学習調査について | | |
| | ア | 2年連続全国最下位の結果を受けて、今後どのような取り組みをしていくか。 | |
| | イ | 今回の調査結果を受けて、教育長は文部科学省へ要請に行ったと聞くが、要請の内容はどのようなものか伺う。 | |
| | ウ | 今回の調査結果において、教科によっては平均正答率が全国との差が縮まった感がするが、その要因についてどうとらえているか。 | |
| | エ | 昨年度の調査結果では、無回答率が全国平均の約2倍となっていたが、今年度はどうなっているか。 | |
| | オ | 正答率の高い都道府県から学ぶことが必要だと思うが、教育長が実際に見聞して本県の教育行政に反映させたらどうか所見を伺う。 | |
| | カ | 生活実態調査における沖縄の子供たちの実態や様子はどうか。 | |
| | キ | 課題として家庭学習ができる基本的な生活習慣の確立が重要だと思うがどのように取り組むか。 | |
| | ク | 教師がゆとりを持って子供としっかりと向き合える環境をつくるのが大切であると考えるが対応を伺う。 | |
| 2 | 原油高騰に対する支援対策について | | |
| | (1) 農・水産業の支援について | | |
| | ア | 漁業者への支援策について、国は5隻以上の集団操業を漁協ごとに認める方針と聞いているが手続はどのようになされるのか。また、本県独自の支援策も示してください。 | |
| | イ | 農業、酪農、肉用牛、養豚、養鶏業への支援策を伺います。 | |
| | (2) 中小企業支援について | | |
| | ア | 原油価格高騰により影響を受けている中小企業に対する金融支援について | |
| 3 | まちづくり支援策について | | |
| | (1) 那覇広域都市計画の見直しについて | | |
| | ア | 那覇広域都市計画「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の見直しに係る今後のスケジュールについて伺う。 | |
| | イ | 那覇広域都市計画区域の再編について、旧知念村、旧玉城村、旧具志頭村の取り扱いをどのように考えているか。 | |
| | ウ | 都市計画基礎調査の分析作業をして、関係自治体と調整するとしているがどのような調整がなされたか。 | |
| | エ | 昨年9月定例会の私の質問に対し、18年度に都市計画基礎調査の実施、19年度に課題を抽出し素案をつくるという答弁であったが、素案への関係自治体の考えはどのように反映されているか。 | |
| | オ | 県は南城市の都市計画区域について市や住民の意向を尊重する考えを示しました。南城市が行った住民説明会の結果を把握しているか。 | |

- (2) 地上デジタル放送移行に伴う対応について
- ア 沖縄本島において、山や丘陵によって放送電波が遮られる地上デジタル放送の難視聴地域の把握をしているか伺います。
 - イ 山間部など放送電波が届きにくい地域での難視聴対策を目的に設置された共同受信施設で、地上デジタル放送対応となっていない場合、現在の施設の改修が必要となるが支援策はないか見解を伺います。
 - ウ 山や丘陵によって放送電波が遮られる難視聴地域への中継局の設置は不可欠であるが対応を伺います。
- 4 農林水産業の振興について
- (1) 有機農業の推進について
- ア 2006年12月施行の「有機農業推進法」による本県における取り組みはどうか。
 - イ 肥料の供給と需要のバランスはどうか。耕種と畜種の有機的連携はなされているか。
- (2) 経営安定対策に基づくさとうきび価格について
- ア 現下の物価高騰による経営安定対策交付金の支援水準を引き上げる必要があると考えるが県の取り組みを伺う。
 - イ 経営安定対策に係る1ヘクタール以上の規模要件を0.5ヘクタールに引き下げるべきと考えるが県の取り組みを伺う。
 - ウ 基幹作業委託を現行の4作業に加え、「薬剤散布」、「倍土」、「育苗・補植」、「かん水」等を追加すべきではないか。
 - エ 現行の特例要件である生産組織の加入を本則へ組み入れるべきではないか。
- 5 土木行政と道路事業について
- (1) 県道48号線の整備計画について課題と今後の見通しについて
- (2) 県道系満与那原線大里中学校付近の歩道工事の課題と今後の見通しについて
- (3) 県内建設業の受注拡大、支援策について
- ア 国発注工事の単独企業及び共同企業体が混在する入札については、共同企業体としての評価点を設けるよう働きかけることについて
 - イ 総合事務局における港湾関係、農林土木関係の発注標準金額を土木建設と同額に統一するよう働きかけることについて
 - ウ 国発注工事においても企業の施工実績を県・市町村の発注分、下請け実績も含めるよう働きかけることについて
 - エ 「総合評価方式」の評点に企業の地域社会への貢献を加味することについて
- (4) 特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律への対応について
- ア 住宅瑕疵担保履行法の対象となる瑕疵担保責任の範囲はどのような部分か。
 - イ 義務づけの対象となるのはどのような事業者か。
 - ウ 住宅瑕疵担保履行法の周知はどのようになっているか。
- (5) 国道の地方道への移管について
- ア 鉄道のない本県は、他府県と事情が違う。むしろ国道として陸上交通網の充実を求めるべきではないか見解を伺う。
- 6 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成20年第3回沖縄県議会(定例会)

10月01日(水)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|---------|--|-----------|----------|
| 7 | 17分 | 島袋 大(自民党) | 知事 関係部長等 |
| 質 問 要 旨 | | | |
| 1 | <p>保育行政について</p> <p>(1) 現在保育所に入所している児童の年齢別の状況はどうなっているのか伺う。</p> <p>(2) 現在待機している児童の年齢別の状況はどうなっているのか伺う。</p> <p>(3) 沖縄県で登録されている保育士は何名なのか。</p> <p>(4) 必要とする人員と登録している人員の割合はどうなっているのか伺う。</p> <p>(5) 保育士が少ないのは雇用面の待遇なのか。対応策として県外や外国から採用するのか。県としての考えは。また、市町村とヒアリングなどを行っているのか伺う。</p> <p>(6) 県内市町村は独自の保育料を設定していると思うが、国基準と比較してどのようになっているのか伺う。</p> <p>(7) 国基準と市町村が定める保育料の差額はどこが、どれくらい負担しているのか伺う。</p> <p>(8) 児童1人当たりの保育単価は地域によって異なるのに、全国一律の基準保育料でやると所得格差が反映されないのではないか見解を伺います。</p> <p>(9) 国基準保育料を国に対して強く見直しを行うよう県としての考えはないか伺う。</p> <p>(10) 認可外保育園支援については、県内市町村とのヒアリングを行っているのか。また、認可外保育園への説明はいつごろ予定しているのか伺う。</p> <p>(11) 県は平成21年度以降に認可化の促進を行い、3年間でどれくらいの施設開園を予定しているのか。</p> <p>(12) 県は平成19年度から福祉サービス第三者評価をスタートさせているが、現在の評価実施状況はどうなっているのか伺う。</p> <p>(13) 評価の受審は義務ではなく任意だが、県民に幅広く認識してもらうためには義務化するべきだと思うが、県としての考えを伺いたい。</p> | | |
| 2 | <p>障害者スポーツの支援策について</p> <p>(1) 沖縄県障害者スポーツ振興会設立についてどうなっているのか伺う。</p> <p>(2) 障害者スポーツ振興策の充実となる予算の拡充についての考えを伺う。</p> <p>(3) 障害者スポーツ指導員育成等のスタッフの確保策についての考えを伺う。</p> <p>(4) 今回の北京パラリンピックに日本代表として沖縄県選手3名(又吉選手、仲里選手、上与那原選手)が出場した。上与那原選手はマラソンで銀メダルを獲得いたしました。県としては県民栄誉賞を贈る考えはないのか伺う。</p> | | |
| 3 | <p>那覇空港の拡張整備について</p> <p>(1) 6月議会で滑走路増設について秋ごろには決定するということがあったが、その後の進捗状況はどうなっているのか伺う。</p> | | |
| 4 | <p>我が党の代表質問との関連について</p> | | |

一般質問通告表

平成20年第3回沖縄県議会(定例会)

10月01日(水)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|---------|---|------------|----------|
| 8 | 17分 | 新垣 哲司(自民党) | 知事 関係部長等 |
| 質 問 要 旨 | | | |
| 1 | 水産海洋研究センターの移転整備について | | |
| (1) | 水産海洋研究センター施設は、設置後34年が経過しコンクリート壁の老朽化が進み、研究施設として早急な整備が必要だと思うが、当局に伺う。 | | |
| (2) | 34年が経過し、施設の老朽化及び周辺の都市化や研究環境の変化等により、移転整備が検討されているようだが、結果について伺いたい。 | | |
| (3) | 移転候補地として、場所や研究環境の観点から糸満市の喜屋武地区がふさわしいとのことで決定されたのか伺います。 | | |
| 2 | ブラジル・アルゼンチン移民100周年について | | |
| (1) | 100年という時を経て、今では一世から六世まで150万人の日系人のうち県系人は15万人と言われている。県系人の絆が他県より強いのは、県系人子弟の留学や自治体の受け入れの体制がすぐれているとみなされる。今後の県の考え方について伺いたい。 | | |
| 3 | 県カジノ・エンターテインメント誘致について | | |
| (1) | 立法化への準備について | | |
| (2) | 規制と監視について | | |
| (3) | 地域振興のツールについて | | |
| 4 | 我が党の代表質問との関連について | | |